

こうえんの すなやま

2年 ものがたり文 7ばん

なまえ

日曜日の こうえんで、 そうた
は一人ですなやまを作っていました。でも、なんどもくずれてしまいます。

「手つだおうか。」知らない
男の子が言いました。「すなに
水をかけると、かたくなるんだよ。」

二人は、バケツで水をくんで
きて、すなにまぜました。すな
はぎゅっとかたまって、山は
どんどん大きくなりました。山
の下にトンネルもほりました。

「できたね。」二人は、かおを
見合わせてわらいました。男の
子は「ぼく、けん。またあそ
ぼうね。」と言いました。

帰りみち、 そうたは、けん
と友だちになれたと思うと、
スキップをしたくなりました。

(1) 「かおを見合わせて」のいみに合うものを一つえらび、記ごうに○をつけましょう。

ア 一人で下を見て

イ とおくのほうを見て

ウ おたがいのかおを見て

エ 目をつむって

(2) 文しように書いてあることに合うものを一つえらび、記ごうに○をつけましょう。

ア すなに水をまぜると、すなはぎゅっとかたまった。

イ そうたは、はじめから友だちとあそんでいた。

ウ すなやまは、一どですぐにできあがった。

エ 男の子は、名まえを言わずに帰っていった。

(3) 二人は、山の下に何をほりましたか。文しよから四字で書きぬきましょう。

(4) 帰りみちに、そうたがスキップをしたくなったのはなぜですか。書きましょう。

書き方のヒント

五つ目のだんらくの「スキップを」の前を見てみよう。

「ゝから。」でおわらせる。

こうえんのすなやま

こたえ 2年 ものがたり文 7ばん

なまえ

日曜日にちようびのこうえんで、そうたは一人ひとりですなやまを作つくっていました。でも、なんどもくずれてしまいます。

「手てつだおうか。」知らない男おとこの子こが言いいました。「すなに水みずをかけると、かたくなるんだよ。」

二人ふたりは、バケツで水みずをくんできて、すなにまぜました。すなはぎゅっとかたまって、山やまはどんどん大おおきくなりました。山やまの下したにトンネルもほりました。

「できたね。」二人ふたりは、かおを見合みあわせてわらいました。男おとこの子こは「ぼく、けんと。またあそぼうね。」と言いいました。

帰りかえみち、そうたは、けんたと友ともだちになれたと思おもうと、スキップをしたくなりました。

(1) 「かおを見合みあわせて」のいみに合うものを一つえらび、記きごうに○をつけましょう。

ア 一人ひとりで下したを見みて

イ とおくのほうを見みて

ウ おたがいのかおを見みて

エ 目めをつむって

(2) 文ぶんしように書かいてあることに合うものを一つえらび、記きごうに○をつけましょう。

ア すなに水みずをまぜると、すなはぎゅっとかたまつた。イ そうたは、はじめから友ともだちとあそんでいた。

ウ すなやまは、一いちどですぐにできあがった。

エ 男おとこの子こは、名なまえを言いわずに帰かえっていった。

(3) 二人ふたりは、山やまの下したに何なにをほりましたか。文ぶんしようにから四字で書かきぬきましょう。

ト
ン
ネ
ル

(4) 帰りかえみちに、そうたがスキップをしたくなったのはなぜですか。書かきましょう。

(れい) けんたと友ともだちになれたと思おもったから。

書き方のヒント

五いつ目のだんらくの「スキップを」の前まえを見みてみよう。

「くから。」でおわらせる。

解答・解説 こうえんの すなやま（2年・ものがたり文）

この話はフィクションです。実在の人物・団体とは関係ありません。

もん 問1 ウ

よっめ 四つ目の だんらくの「かおを みあ 見合わせて わらいました」は、ふたり 二人が おたがいの かおを み 見て わらった ようすです。

もん 問2 ア

みつめ 三つ目の だんらくに「すなに まぜました。すなは ぎゅっと かたまって」と か 書いて あります。

もん 問3 トンネル

みつめ やま した 三つ目の だんらくに「山の 下に トンネルも ほりました」と か 書いて あります。

もん 問4 （れい） けんとと 友だちになれたと 思ったから。

いつめ おも か 五つ目の だんらくに「けんとと 友だちになれたと 思うと、スキップを したくなりました」と 書いて あります。けんとと 友だちになれた ことが 書けて いれば ○です。